YAMAHA	H.I.D.キット 組付・取扱説明書	適応機種 XC125X FI(28S/1YP)

はじめに

工数：0.8h

◘お 客 様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告 **取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**

注 意 **取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

取 り 扱 い に つ い て

⚠警 告

- **定期的に、組み付け状態を確認して必要に応じて増締めをしてください。**
- **イグナイターからH.I.D.バルブまでの配線内は、起動時に約20000Vの高電圧が発生し危険ですので、各ハーネスを持ったままスイッチを入れないでください。**
- **ヘッドライト点灯時および消灯直後はランプが非常に高温となっていますので火傷の恐れがあります。絶対に触らないでください。H.I.D.バルブ交換時は、必ずスイッチを切り、バルブが冷えてから交換してください。**
- **H.I.D.バルブ、コントローラー、イグナイターは、どのような場合でも絶対に分解しないでください。正規の点検を受けられないばかりか、そのままご使用いただいた場合、感電する恐れがあります。**

注 意

- **ヘッドライト点灯中や消灯直後は、洗車や直接水を掛けたりしないでください。温度差によりレンズ割れなどの原因となります。**
- **H.I.D.バルブとバッテリー保護のため、ロービーム／ハイビームの切り替えおよびパッシングは、連続して5回以上行わないでください。**

組 み 付 け に つ い て

⚠警 告

- **雨などの当たる場所での作業は避けてください。濡れた手での作業は感電する恐れがあり大変危険です。**
- **H.I.D.バルブは落としたり、無理な力を加えたり､傷を付けたりしないでください。破損した場合はけがの原因となります。また、機能や寿命時間の低下につながる場合があります。**
- **ボルト、ナット類は、確実に締め付けてください。走行中に部品が外れると、思わぬ事故につながる恐れがあります。**

注 意

- **H.I.D.バルブキット組み付け前にこの説明書を必ずお読みください。**
- **バッテリーの㊀、㊉端子を外してから作業をしてください。㊀端子は必ず外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。**
- **コネクター、カプラーの抜き差しは、コネクター、カプラーを持って確実に行ってください。不確実な接続は不点灯の原因となります。**

要　点

- 本製品は、純正ハロゲンバルブとの付け替えになります。
- 取り外したハロゲンバルブは、スタンダードに戻すときに必要となりますので大切に保管してください。

構　成　部　品

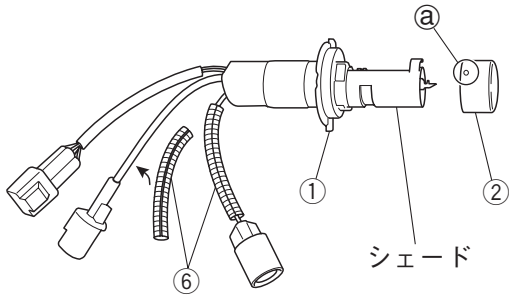
No.	品　名	数 量	備　考
①	H.I.D.バルブ	1	H4 4600K（HI / LOW切替）新型 （25Wバラストとの組み合わせで5100Kとなります）
②	シェードキャップ	1	
③	イグナイター	1	タイプ3
④	コントローラー	1	タイプ3　25W
⑤	ローハイ切替ユニット	1	
⑥	コルゲートチューブ	2	
⑦	ロックタイ	10	200mm
⑧	ハーネス	1	XC125専用
⑨	小判型ステー	1	ローハイ切替ユニット⑤組付用
⑩	ボルト	1	小判型ステー⑨組付用　M6 × 14mm
⑪	セルフロックナット	1	小判型ステー⑨組付用
⑫	超強力両面テープ	1	コントローラー④組付用
⑬	超強力両面テープ	1	イグナイター③組付用

要　点

- 作業中は、塗装部などへの傷付きに注意してください。
- 取り外して交換した部品は再使用しませんが、スタンダードに戻す時に必要となりますので大切に保管してください。

組　付　方　法

1.スタンダード車のモール1、レッグシールド1（ヘッドライトユニットごと外す）、ハンドル、カバーサイド1、モールフットレスト･2、カバーサイド2･3（テールランプ、リアフェンダーごと外す）、ボックス1（シートごと外す）を取り外します。🕮
2.バッテリーの㊀端子を外します。
3.H.I.D.バルブ①にコルゲートチューブ⑥とシェードキャップ②を組み付けます。



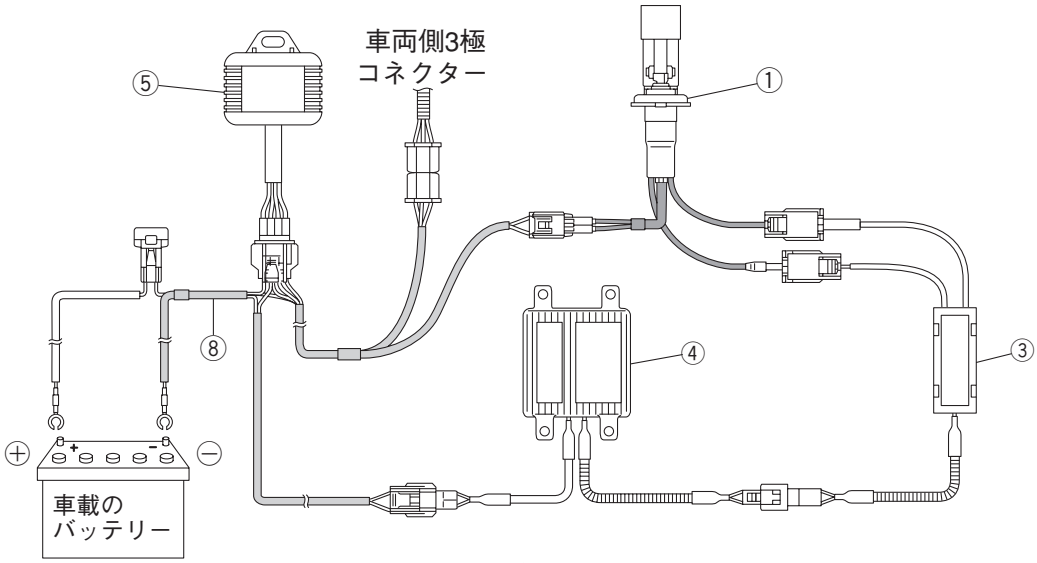
要　点

- シェードキャップ②装着時、シェード突起部がシェードキャップの穴に“カチッ”と音がするまで確実に組み付けます。
- シェードキャップ②の凹部ⓐとH.I.D.バルブ①の切り欠き部を合わせ、損傷させないように組み付けます。

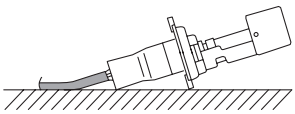
4.キットの部品を下図のように接続して、点灯確認をします。

【点灯確認手順】

（1）下図に従ってH.I.D.バルブ①とイグナイター③やハーネス⑧のコネクターをそれぞれ接続し、ハーネス⑧をローハイ切替ユニット⑤や車両側3極コネクター、コントローラー④に接続します。
（2）接続終了後、ハーネス⑧の白線をバッテリー⊕端子、黒線をバッテリー⊖端子にそれぞれ接続します。
（3）ヘッドライトスイッチを“ON ”（LOWビーム）にしてLOWビームの点灯を確認します。
（4）ヘッドライトスイッチをHIビームに切り替えてHIビームの点灯を確認します。
（5）点灯およびLOW - HI の切り替えができれば、確認は終了です。



※バッテリーの配線は、スタンダード車の接続状態にしておきます。



点灯確認時、H.I.D.バルブ①のガラス部および、シェード部は大変熱くなります。燃えやすいものを近づけないで、左図のように置いて点灯確認を行ってください。

⚠ 警 告

ヘッドライト点灯中や消灯直後のH.I.D.バルブ①は高温になっているため、可燃物や手を近づけないでください。

要　　点

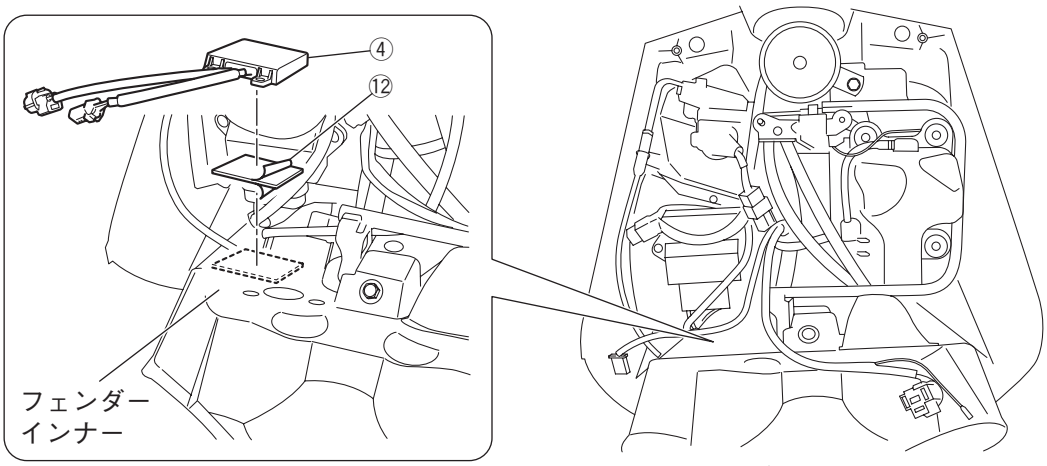
- 誤接続を防ぐため、コネクターの形状がそれぞれ異なります。
- 点灯確認時間は、10秒以内で行ってください。
- 車載のバッテリー電圧が低い場合は、H.I.D.バルブ①が点灯しない場合があります。完全充電のものをご使用ください。
- 点灯確認を怠り、装着作業中に発生した破損などは、クレームの対象外となりますので、予めご了承ください。

5. コントローラー④を超強力両面テープ⑫で、フェンダーインナーに貼り付けます。

注 意

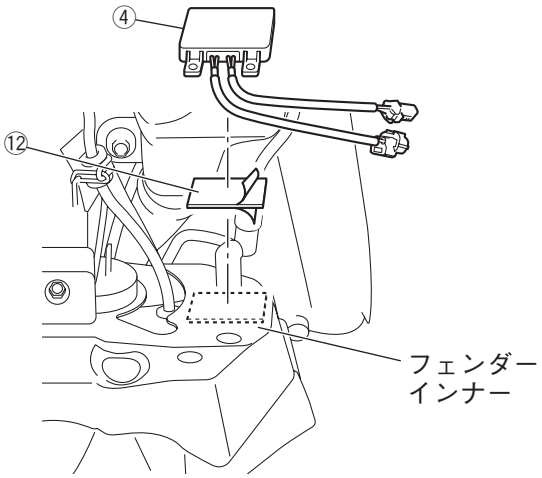
貼り付ける前に、貼り付け面の汚れや油脂類を拭き取ってください。汚れや油脂が残っていると接着が不充分となり、脱落する恐れがあります。

28S



スタンダード車正面図

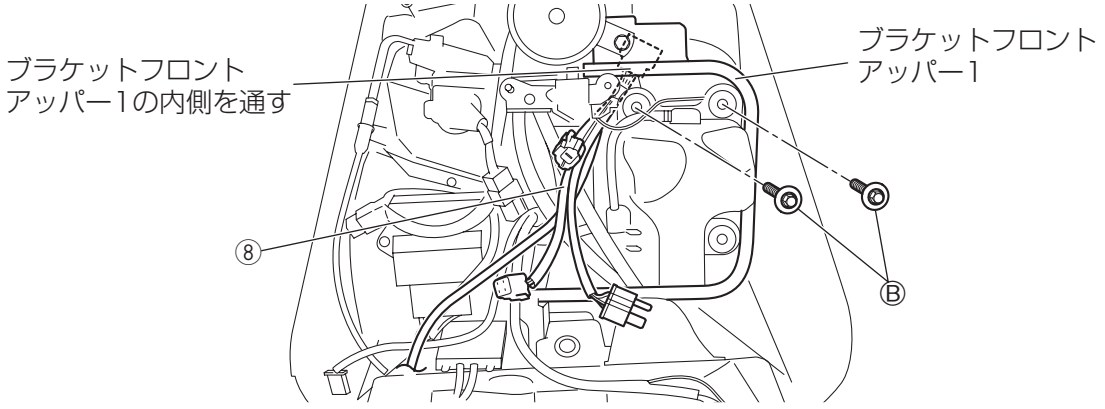
1YP



6. 車両ボルトⒷ（2ヶ所）を取り外し、ハーネス⑧を下図のように配索します。

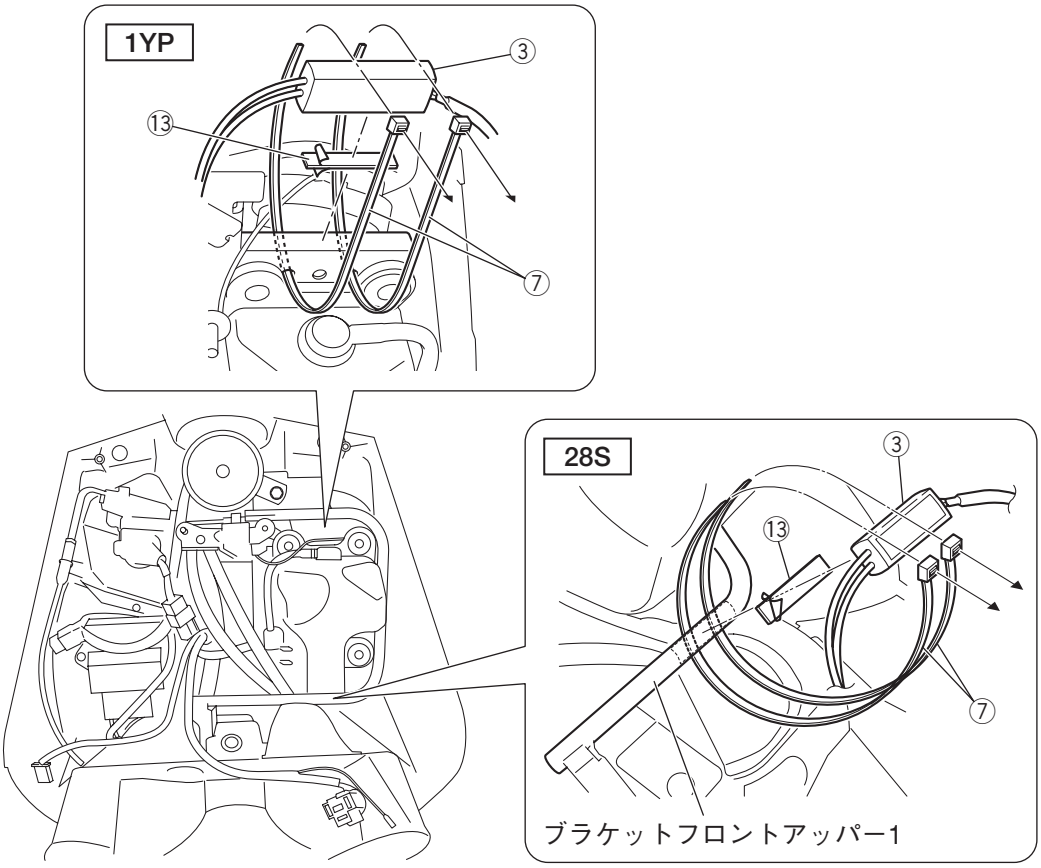
注 意

無理な力でハーネス⑧を押し込んだり、引っ張ったりしないでください。ハーネス⑧が損傷する恐れがあります。



※イラストは28Sを例にしてますが、1YPも同様に配索します。

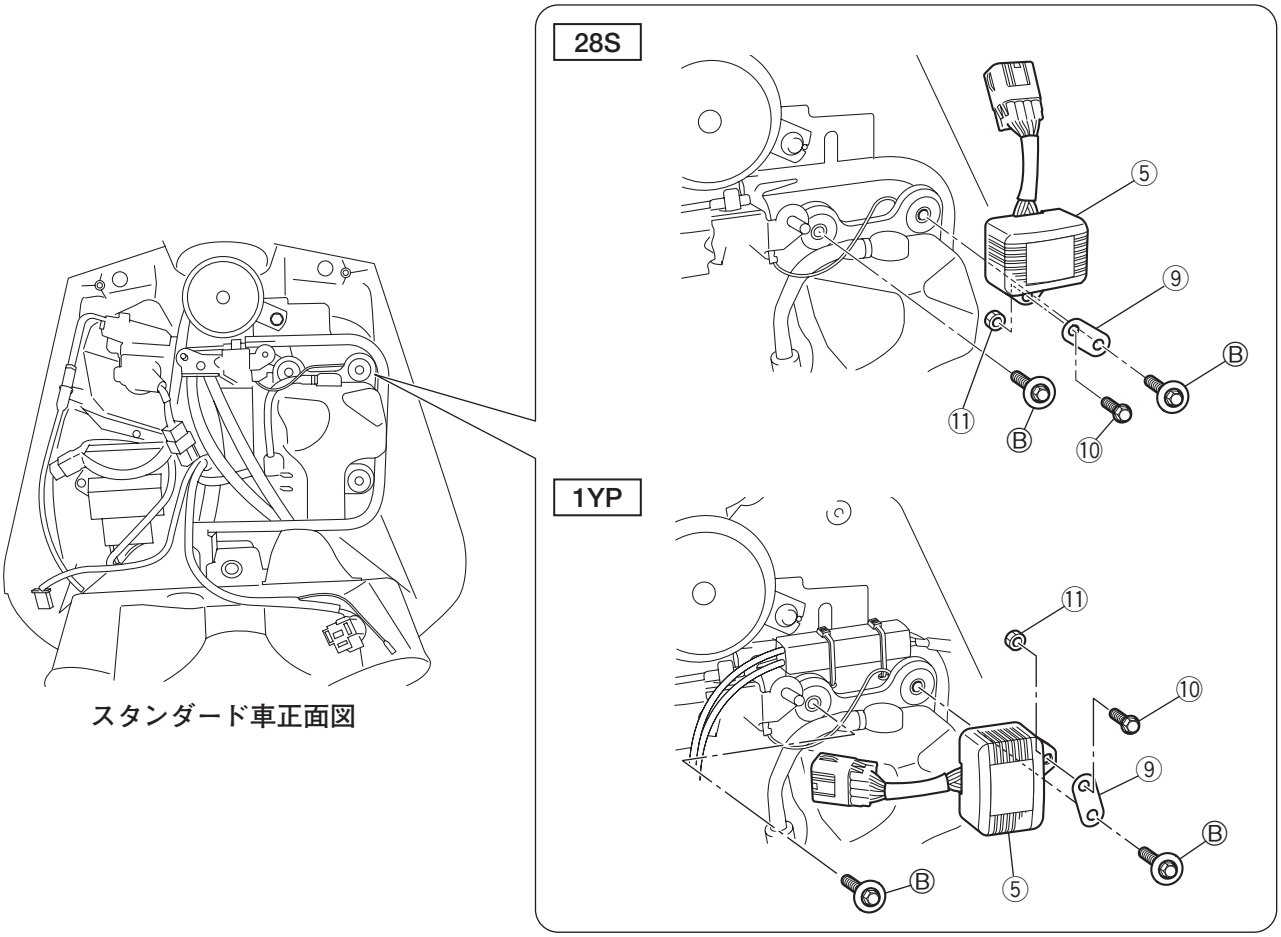
7.イグナイター③を超強力両面テープ⑬とロックタイ⑦2本で、車両部品に組み付けます。



スタンダード車正面図

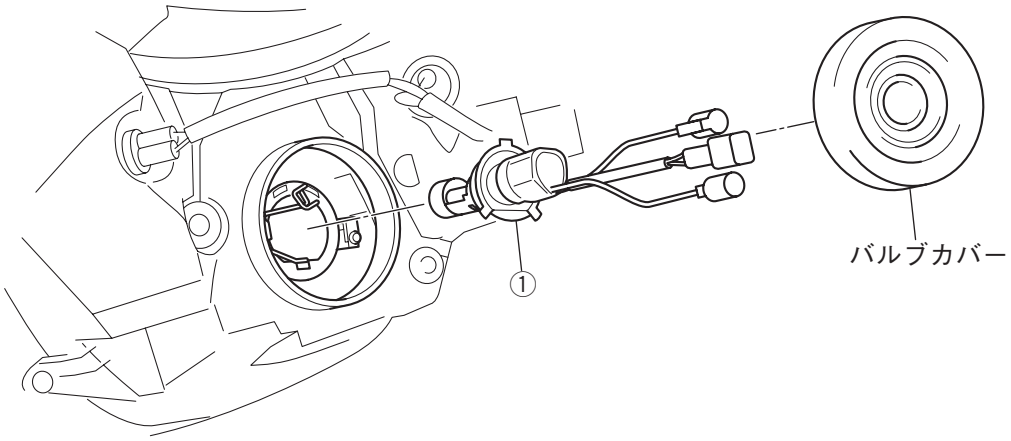
8.小判型ステー⑨をボルト⑩とセルフロックナット⑪で、ローハイ切替ユニット⑤に組み付けます。

9.**組付方法8**で組み付けた小判型ステー⑨を、車両ボルトⒷを使用して車両ボルトⒷが組み付いていた位置に組み付けます。残りの車両ボルトⒷも元の位置に組み付けます。



スタンダード車正面図

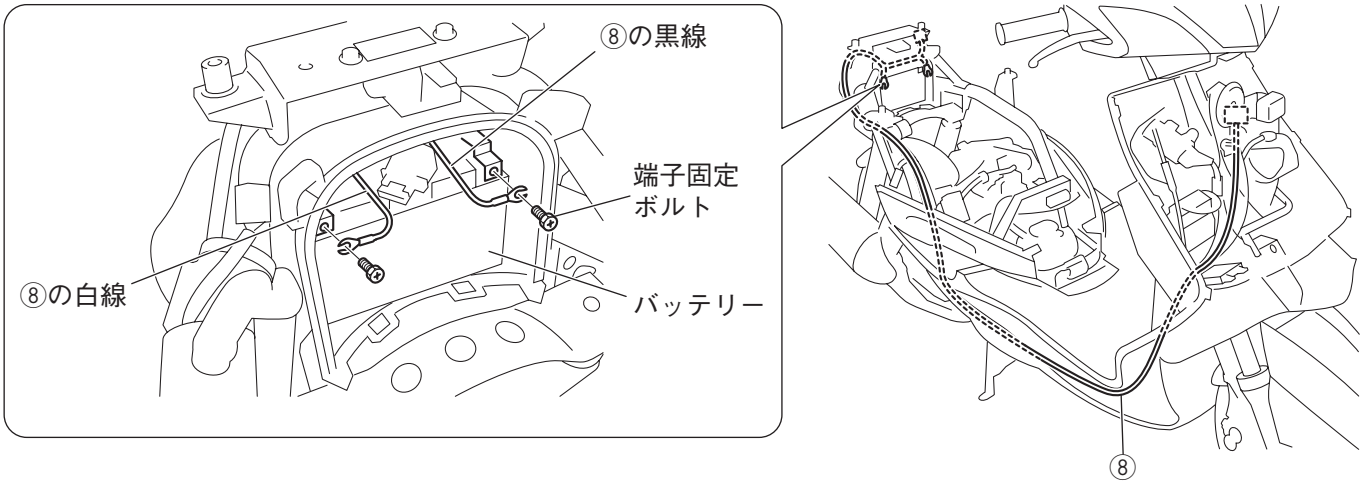
10.スタンダード車のヘッドライトユニットからバルブカバー、ハロゲンバルブを取り外します。🕮
11.H.I.D.バルブ①にバルブカバーを組み付け、ヘッドライトユニットに組み付けます。



12.ハーネス⑧の白線・黒線を、車両クランプを通しながら下図のように配索します。
13.各部品のコネクターを接続します。（3ページの点灯確認手順参照）
14.ハーネス⑧の白線をバッテリー⊕端子に、黒線をバッテリー⊖端子に接続します。

要　　点

余分な配線はロックタイ⑦を使用して車両部品に固定してください。



15.バッテリーの⊖端子を組み付け、点灯確認をします。
16.ヘッドライトの光軸調整を行ってください。🕮
17.取り外した車両部品を組み付けます。🕮

取　扱　上　の　ご　注　意

⚠ 警 告

ヘッドライト点灯中や消灯直後のバルブは高温になっているため可燃物や手を近づけないでください。

こ　の　よ　う　な　時　に　は

お客様へ・・不点灯などの異常が発生した場合は、使用を中止してお買い求め販売店での点検を受けてください。
バルブ、ハーネス、コントローラーおよびイグナイターなど各部品には、絶対に触れないでください。

下記のような症状は故障ではありませんので、ご了承ください。

- **点灯直後に発光色が変化する。**
  H.I.D.の特性上、点灯直後は発光色が変化し、10～50秒程度で発光色は安定します。
- **コントローラー、イグナイターから高周波音がする**
  電圧を制御している音で異常ではありません。

上記以外の症状が見られる場合、次のトラブルシューティングに従って各部の点検をしてください。

ト　ラ　ブ　ル　シ　ュ　ー　テ　ィ　ン　グ

●組み付け後、点灯しない

1.バッテリーの⊕、⊖が接続されているか点検します。
→ NG：バッテリーの⊕、⊖の接続をしてください。
↓ OK

2.各コネクター、端子のつなぎ忘れがないかを点検します。
→ NG：組付・取扱説明書に従って確実につないでください。
↓ OK

3.コネクターなどの接続が不確実でないかを点検します。
→ NG：不確実な部分を確実に接続してください。
↓ OK

4.ハーネスのヒューズが断線していないかを点検します。
→ NG：原因を取り除き、ヒューズを新品に交換してください。
↓ OK

お買い求め販売店に連絡の上、点検を受けてください。

要　点

ヤマハ車はエンジンを始動しないとヘッドライトは点灯しませんのでご注意ください。

●突然点灯しなくなったら

コントローラーの安全装置が働いている場合があります。
メインスイッチキーを“OFF”して数分後、再度メインスイッチキーを“ON”にして点灯を確認してください。

1.コネクターなどの接続が不確実でないかを点検します。
→ NG：不確実な部分を確実に接続してください。
↓ OK

2.ハーネスのヒューズが断線していないかを点検します。
→ NG：原因を取り除き、ヒューズを新品に交換してください。
↓ OK

お買い求め販売店に連絡の上、点検を受けてください。

●点滅したら

1.コネクターなどの接続が不確実でないかを点検します。 → NG → 不確実な部分を確実に接続してください。

↓ OK

2.バッテリー電圧を点検してください。
（アイドリング回転時で12V以上が目安です。） → NG → バッテリーを補充電または交換してください。

↓ OK

3.H.I.D.バルブが損傷していないか点検します。特にガラスチューブに並んでいるセラミックチューブが折れていないか点検します。 → NG → H.I.D.バルブを交換してください。

↓ OK

お買い求め販売店に連絡の上、点検を受けてください。

●点灯したままになったら

1.ローハイ切替ユニットが損傷していないか点検します。 → NG → ローハイ切替ユニットを交換してください。

↓ OK

お買い求め販売店に連絡の上、点検を受けてください。

●点灯後、配光がでない時

バルブごとに若干の発光点のばらつきがあり、光軸調整が必要となります。
しかし、配光のズレがヘッドライトユニットの調整範囲を超えている場合は、次項目の確認をしてください。

1.H.I.D.バルブがバルブソケットの口金に正しくセットされているか点検します。 → NG → H.I.D.バルブをバルブソケット口金に正しくセットしてください。

↓ OK

お買い求め販売店に連絡の上、点検を受けてください。

●商品に関するお問い合わせ
株式会社ワイズギア
0570-050814（ゴーワイズ）
オープン時間　月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。
〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地　FAX.053-443-2187